

【支援対象者の推移】

調査票にご回答いただいた方のうち、記載内容から支援が必要と判断された方を対象に専任の助産師等による電話やメール支援を行っています。

調査年度	電話支援 対象者数	回答者の 支援者の割合	調査年度	電話支援 対象者数	回答者の 支援者の割合
平成23年度	1,401人	15.0%	平成23年度フォローアップ調査	375人	14.7%
平成24年度	1,104人	15.4%	平成24年度フォローアップ調査	256人	12.7%
平成25年度	1,101人	15.2%	平成25年度フォローアップ調査※	391人	14.5%
平成26年度	830人	11.6%	※暫定値（平成30年6月30日現在）		
平成27年度	913人	13.0%			
平成28年度	951人	13.0%			

【電話による相談内容】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～平成29年度 ^a (同じ順位でした)	平成23年度の フォローアップ	平成24年度の フォローアップ	平成25年度の フォローアップ
1位	放射線の 心配や影響	母親のこころや 身体の健康	母親のこころや 身体の健康	母親のこころや 身体の健康	母親のこころや 身体の健康	母親のこころや 身体の健康	子育て関連
2位	母親のこころや 身体の健康	子育て関連	子育て関連	子育て関連	放射線の 心配や影響	子育て関連	母親のこころや 身体の健康
3位	子育て関連	放射線の 心配や影響	子どものこころや 身体の健康	家庭生活に関すること	子育て関連	子どものこころや 身体の健康	放射線の 心配や影響

^a「子育て関連」の具体的な内容は、離乳食、夜泣き、便秘、予防接種など

第30、32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

震災後には放射線の心配や影響についての相談が最も多くありましたが、それらの割合は時間の経過と共に徐々に低下しています。平成24年度以降、徐々に母親のこころや身体の健康に関すること、子育て関連等の割合が増え、上位を占めるようになってきました。

平成24年度のフォローアップ調査の要支援率は12.7%と平成23年度フォローアップ（14.7%）より下回りました。平成25年のフォローアップ調査では、自由記載の内容から支援が必要と考えられる方への支援を例年よりも広げて実施したため、14.5%となりました。

本資料への収録日：平成25年3月31日

改訂日：平成31年3月31日